

茅野市コミュニティ・スクール連絡会

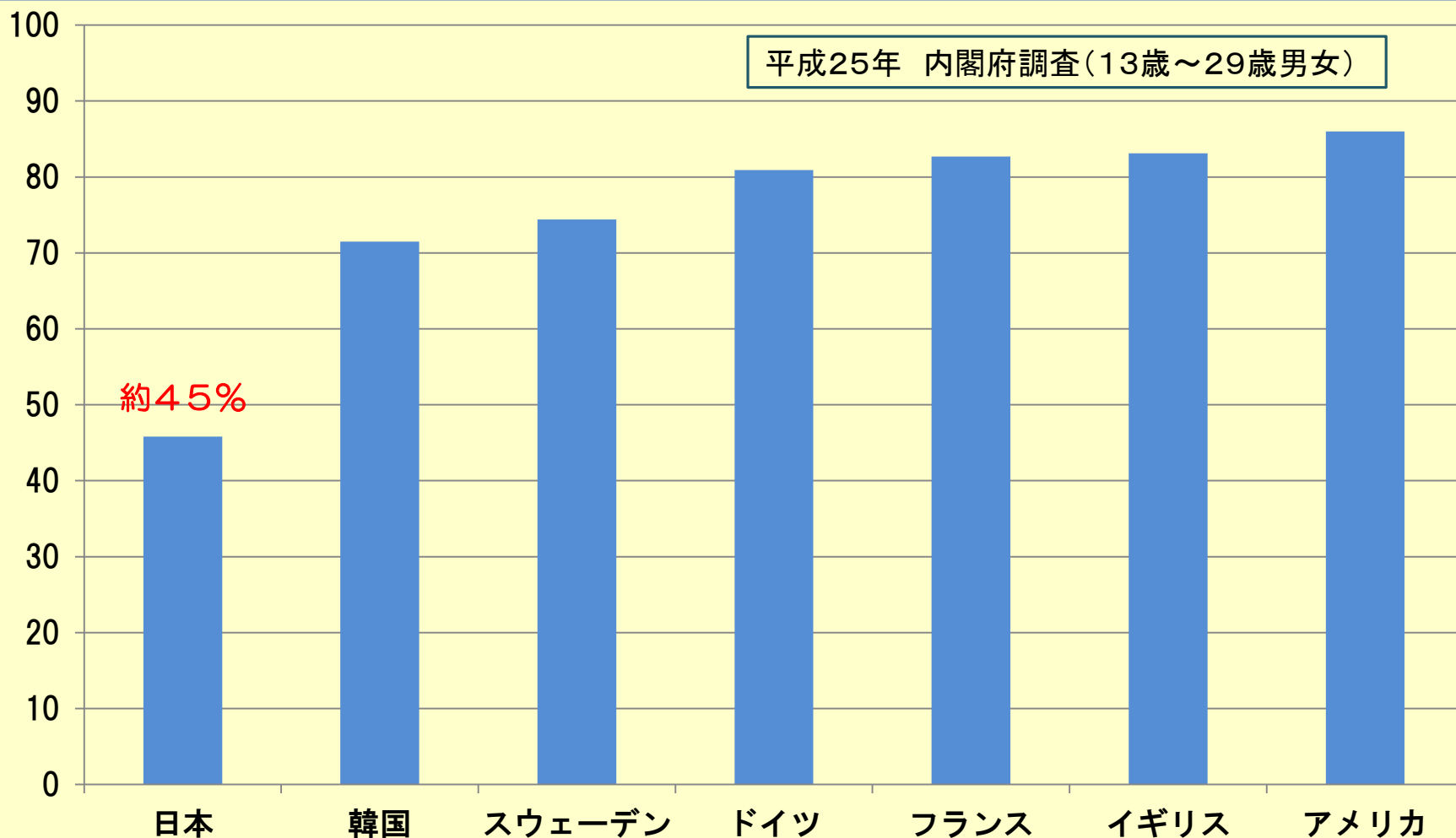


令和4年5月10日(火)

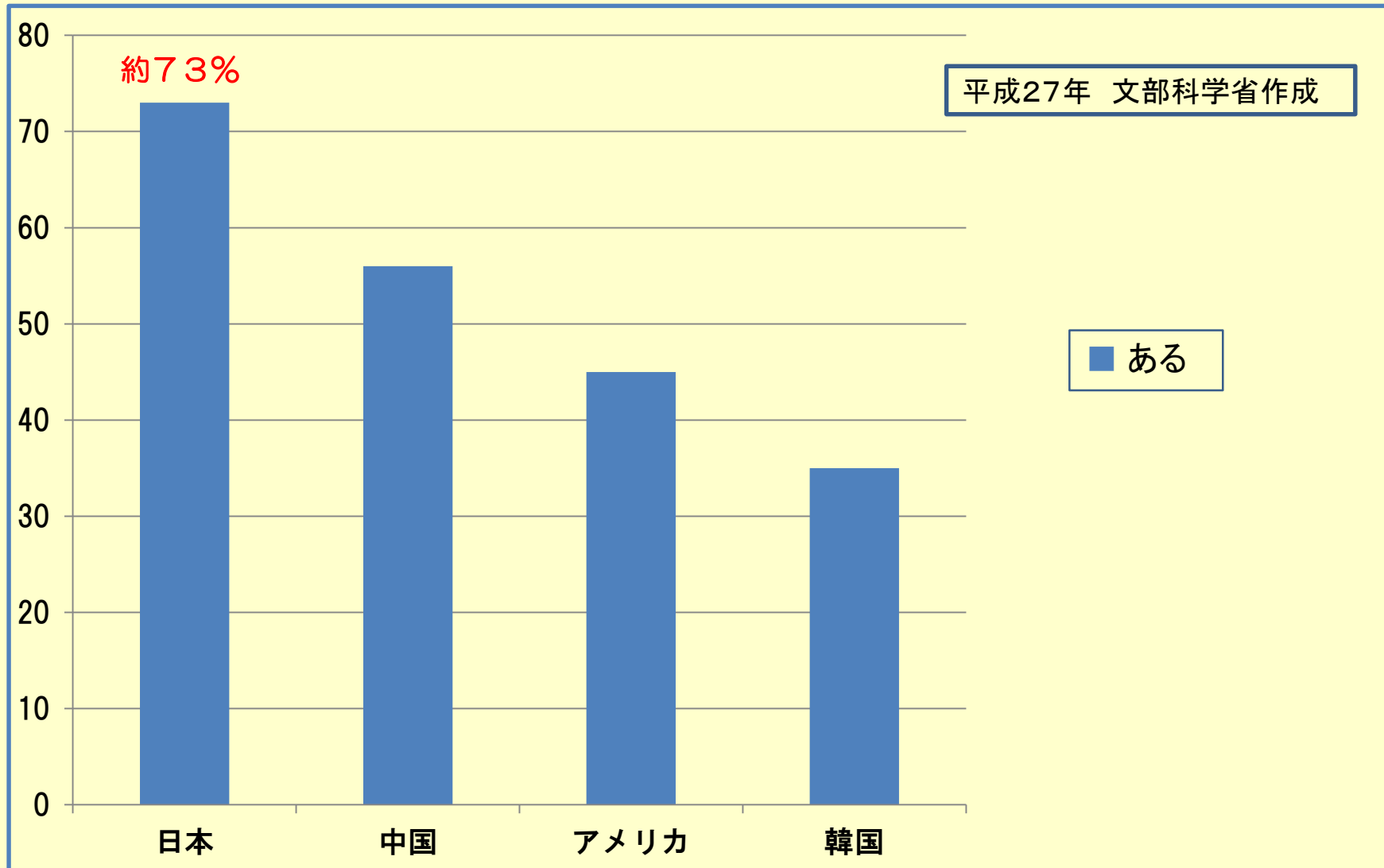
飯島町教育委員会
片桐 健



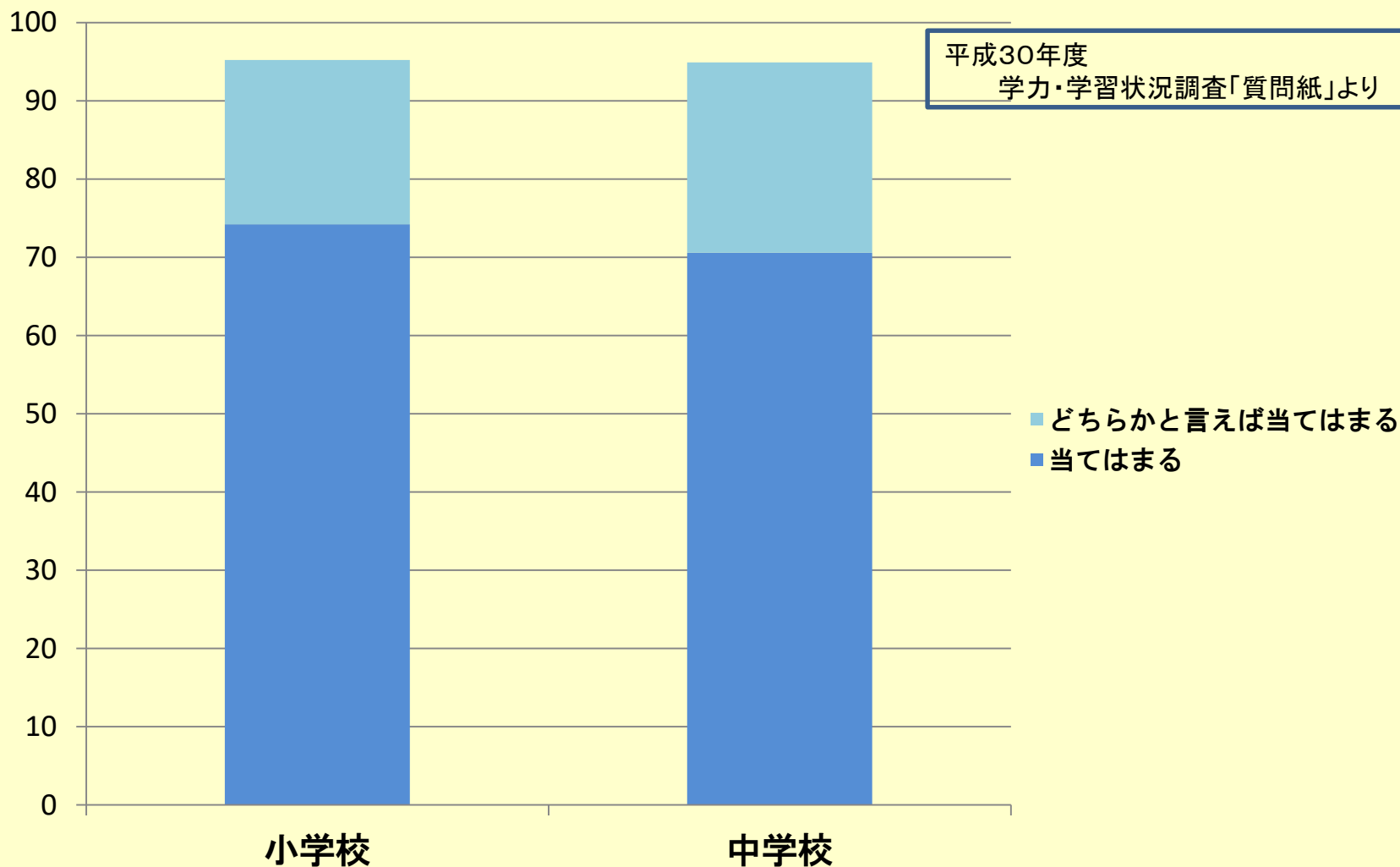
■「自分自身に満足していますか？」



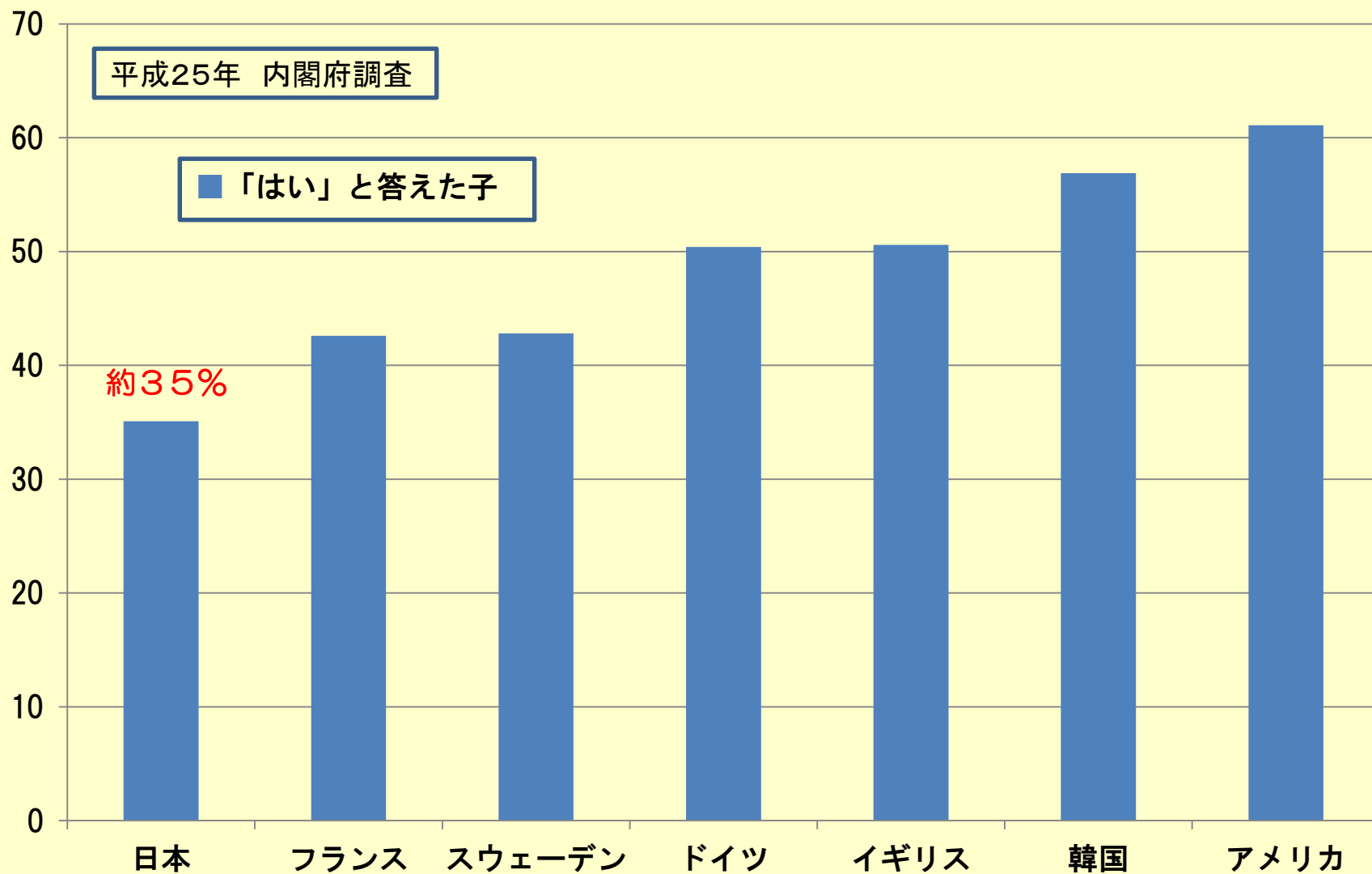
■ 「自分はダメな人間だと思うことがありますか？」



■「人の役に立つ人間になりたいと思いますか？」

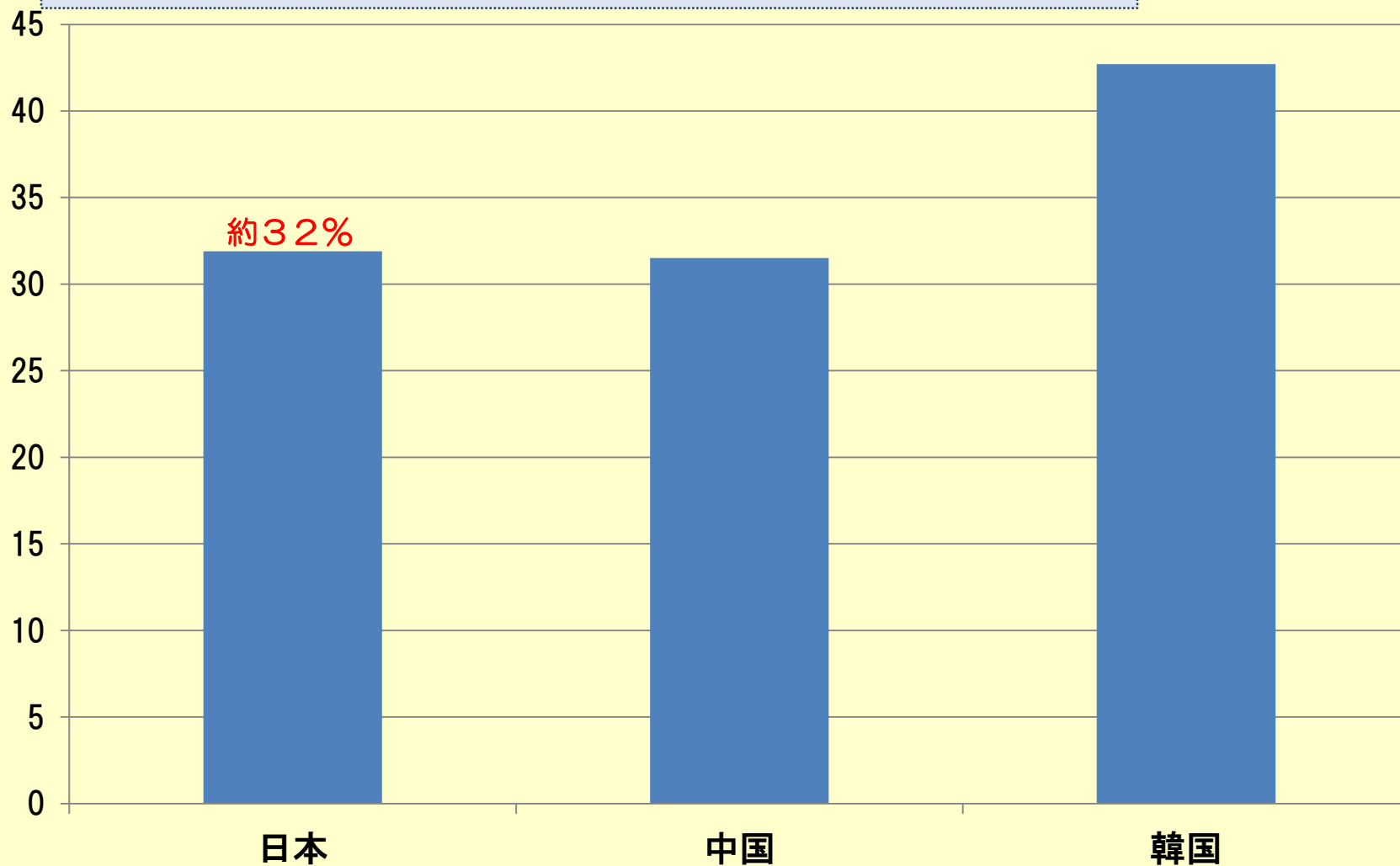


■「ボランティア活動に興味がありますか？」



■ 「これからの人生をどんな目標を持って生きたいですか？」

Ans: 「社会のために役立つ生き方をする」と答えた子どもたち



子どもたちは、今

「人の役に立ちたい」と「社会のために役に立ちたい」の矛盾（不思議？）

新たなものの創造や新たに挑戦していく力の弱さ（「何をしたらいいの？」）

自ら「考え」「動く」力の弱さ（面倒なことは…）

決められたことにまじめに取り組める

失敗することへの恐れ（自己否定となってしまう）

自己肯定感・自尊感情の低さ（「どうせ自分なんか？」）

「傷つきたくない」（でも、安易に傷つけるという矛盾）

SNS等による会話（自分の言葉で話す力の弱さ）

「きっかけがあればやってみたい」意欲

説明したり書く学習の苦手さ（答えが明確でない・面倒？）

学ぶ意欲の低下（できる子が楽しいと感じていない）

社会的背景・課題

- 地域の人間関係の希薄化
- 人口減少と少子化・核家族化
- 人の世話にならず,人に迷惑をかけず,人と関わらず生きられる社会

学校教育の課題

- 保護者のニーズの多様化
- 家庭の不安定さによる課題
- 特別支援教育の複雑化・多様化
- いじめ・不登校の増加
- 先生が多忙化
- 10代女子の自殺の増加

家庭教育の課題

- 過保護・過干渉
- 育児相談の困難さ
- DV・虐待の問題
- 愛着障がいからくる課題
- 親の要らない家庭教育支援の是非

社会教育の課題

- 利用者・参加者の偏り
- 学習内容や活動の偏り
- 学びが活用されていない現状(個人レベルの学習で終わる)

こんな言葉が...

- 「人は他者に勝った時に幸せになるのではなく、他者に**役立った存在になった時**に生きがいや永遠を感じる」
- 「親に認められても社会人になれない。**匿名の他者に認められて社会人になる**」(姜 尚中)
- 「**たくさんの人と付き合うこと**によって自分の個性がわかる」(山田 洋二)
- 「【人と人がつながり社会を作る力】は**多様な大人・他者との相互関係を繰り返すこと**によって培われる」(門脇 厚司)

学校では...

社会に開かれた教育課程

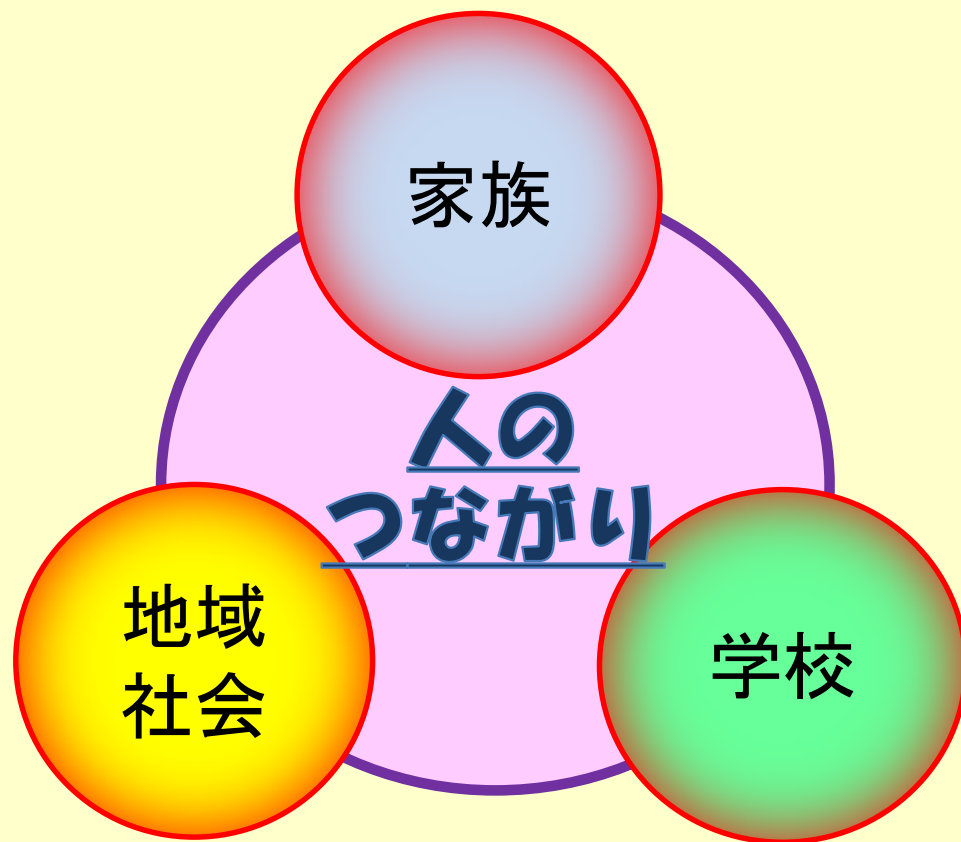
地域の大人すべて
Ⅱ
子どもを育てるサポーター

新学習指導要領(前文)

(前略) … これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという社会に開かれた教育課程の実現が…… (中略) …児童(生徒)が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは、教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家庭や地域の人々も含め、さまざまな立場から児童(生徒)や学校に関わる全ての大人に期待される役割である。

地域が子どもを育てる

- 一人の子どもを育てるには一人の目では足りない
- 子どもたちに必要な教育は学校だけが担うものではない
- 地域での学び
＝自由度の高い学び
- 偶然の大人との出会いを必然にしていくのが地域の学び
- 社会で生き抜く力は「学校外」で育つ？



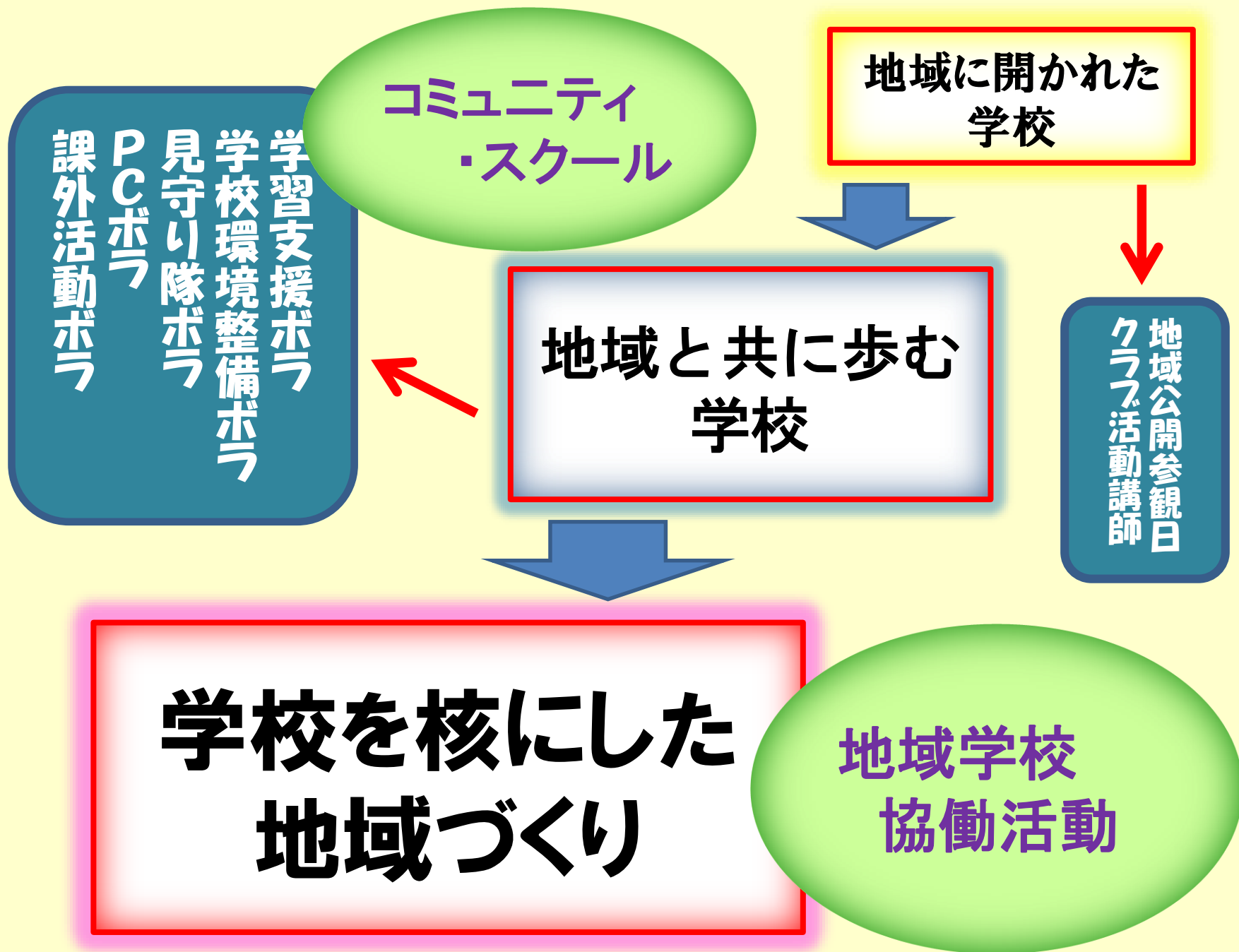
地域に開かれた
学校

コミュニティ
・スクール

地域と共に歩む
学校

地域公開参観日
クラブ活動講師

学習支援ボラ
学校環境整備ボラ
見守り隊ボラ
PCボラ
課外活動ボラ



＝ボランティア活動??

コミュニティ
・スクール

地域学校
協働活動

スクール
・コミュニティ

連携(支援)

から

協働

へ

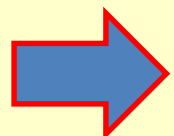
●自分たちがもともとやっていることを生かした学校と地域の協力関係

一方向(Give & Take)
の関係

●学校と地域の活動を通して新しい[人のつながり]や[もの]や[こと]が生まれていく関係

双方向(Win-Win)
の関係

「この頃ねえ。家の近所で子どもたちの
遊んでいる声がしなくなって寂しくてなあ。」

「子どもの声のする場所＝【学校】に
来てもらえばいいんだ！」

- 地域の方に支援してもらえばかりでなく、学校が地域の力になれることはないかなあ。
- 子どもたちには、大人（地域）を【元気にする力】や【笑顔にする力】や【明るくする力】があるよなあ。
- 学校が、子どもたちだけでなく地域のいろいろな方が集まって学び合える「寄せ鍋」のような学びの場になったら素敵だなあ。

とにかく
一歩を踏み出そう！

戸狩小学校で... 【わくわく笑楽校】

H18～20

クリアしなければならなかったこと

○学校管理の課題⇒平日の昼間にやればいい？

○どうやって人を集める？⇒少人数でいいじゃないか。口コミで。

・五平餅づくり ・読み聞かせにチャレンジ ・フォトフレームづくり

★「教頭先生、おばあちゃんが朝から『学校に行く』って張り切ってるんですよ」

★小さな子ども連れのお母さんや不登校の高校生の参加・・・嬉しい出来事

豊田小学校(諏訪市)で... 【縁側構想】

H23～25

○校舎改築と重なり「わくわく笑楽校」のような展開はできず、新教室を【地域の縁側】とし、地域の居場所の一つとして計画。

○着任時には既にボランティア組織が定着。

とよだっ子探検隊 ⇒ ・サツマイモづくり ・何でも焼き

・諏訪湖での魚釣り ・学校お泊り会(後に災害時の避難 所体験へと)

○心配引き受け人形を送る(東北・栄村に1782体。校区の皆さんに呼びかけ)

★コーディネーターの積極的な取り組みで、自主的に運営されていた。コーディネーターの世代交代が課題。

赤穂東小学校で...

■子どもも地域も育ち合う■

すずらん東楽舎

寄世鞆学校

●学校と地域のWin-Winの関係を

- ・学校が地域の方々の元気を作り出す。
- ・「お互いさま」の関係を(子どもの存在)

●地域の絆を紡ぐ

- ・学校が地域の方々の出会いと学びの場に
- ・学校が地域の方々の「居場所」として...

●子どもの豊かな学びの創造

- ・多様な他者との豊かな学びの実現
- ・人と出会い、人と学び、人とつながる

アドバイザー
市教委・公民館

すずらん
園芸環境部

区長会

民生児童委員

すずらん
咲顔見守り隊

旧学校評議員

すずらん情報局

P T A

すずらん東楽舎運営協議会

赤穂東小学校(校長・教頭・CS担当教諭)
企画・立案・運営・承認・評価
(学校運営方針、学校運営、教育活動)

※各代表者

すずらん寺子屋塾

縁が和倶楽部

すずらん東風の会

コーディネーター
【舎長(1)】 【副舎長(3)】

定例舎長会議(2ヶ月に1回)
・必要に応じて[育成会][消防団]
[青年会議所][分館長]

すずらん見守り隊

すずらん寺子屋塾

すずらん情報局

すずらん東風の会

すずらん
園芸環境部

「縁が和」倶楽部

父ちゃんズ倶楽部

母ちゃんズ倶楽部

- ★地域とどうやってつながったらいいの？
- ★地域との連携窓口をどうしたらいいの？

- ★先生方と地域の方の橋渡しは
どうしたら？(ズレもあり)
- ★地域との関わりに負担感を感じ
ている職員も…。
- ★事務的な負担感を感じてしまう。

聞こえてくる声

- ★地域のボランティア
はいるのに声
がかからないなあ？

- ★何をしてほしいのかが
分からないなあ？

- ★ぼつぼつコーディネ
ーターの世代交代を考
えなくては…。？

- ★協働の活動を
どのように展
開していけば
いいの？
- ★普段の教育活動
と地域の方が
いっしょにできる
活動は？
- ★何かをしてもら
う活動でいいの？

今、思うこと

★地域と学校の協働活動が生み出すもの

- ・子どもにとって⇒自尊感情が生まれる。(地域で褒められる、地域の役に立つ) 魅力ある(あやしい)大人との関わりは「キャリア教育」
- ・学校にとって⇒「学び」の概念の転換や学校文化の見直しにつながる。
- ・地域にとって⇒ 子どもの参画による行事の活性化。大人たちの生きがい。「地域づくり」や「まちづくり」へと。
- ・家庭にとって⇒ 子育てを親一人で背負うことがなくなる。「地域の中で育つ」

★地域の「目指す子ども像」の明確化・共有化

○学校と地域で悩みや課題を率直に語り合う。(熟議)

★大人といっしょに取り組む協働活動の取組み

○地域連携カリキュラムを位置づける)⇒ 年間学習指導計画
地域を「教材化する」・地域人材を「生かす」・地域に「還元・貢献」するカリキュラム

★中学生・高校生が地域で「見える」存在に！

- 【あてにする】⇔【あてにされる】関係性を！(必要とされる実感を)
- 【参加】から【参画】へ(もちろん、小学生も)

最後に

「今日も一日、
ちょっとだけがんばろう」

咲 顔